

台湾の学生と交流 国を越えて心をつなぐ



▲本校生徒は多くの台湾の生徒から歓迎を受けた。

▶ 歓迎のあいさつをされる台南大学附属高級中学校校長の陳先生



▲美麗島駅のコンコースには日本人の作家がデザインしたステンドグラスが掲げられている。



▲新堀江の商店街は常に人通りが絶えない。

修学旅行2日目となった11月13日、生徒たちは台南市にある台南大学附属高級中学校を訪れ、生徒たちと交流した。交流では授業の体験や校舎の見学などが行われた。その後生徒たちは高雄市に戻り、高雄市内でB&S研修を行った。B&S研修ではクラス別で複数の班に分かれ、事前に立てた計画に従って高雄市内の観光地を訪れた。

バスが高級中学校に到着すると、生徒たちは台湾の学生から熱烈な歓迎を受けた。そして台湾の学生と英語でコミュニケーションをとりながら、学生同士の仲を深めた。続いて行われたB&Sでは、班ごとに大学生と交流しながら高雄市内を自由に周遊した。生徒からは「言語が違うことで意思疎通がうまくできないこともあったが、楽しく観光することができてよかった」「大学生の人と色々なところに行くことができて楽しかった」「時間が足らずすべて回ることができなかったが、とても充実した1日を過ごすことができた」などの声が挙がった。



▲高雄市内を多くの自動車が駆け抜ける。



速報新聞
発行所

キマグレ

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号